

Nutrition Support Times

SGAを見直そう!

当院ではNSTサテライトチームが稼働を始め、今までよりも栄養管理がみんなの身近に近づいてきたような、真っ白なNSTが始まるような感覚です。初めてNSTに関わる人もいてとても新鮮です。みんなあまり期待していなかったけれど体重測定などもしていただけたところも増え、患者さんの栄養管理を真剣に考えてくれてうれしいかぎりです。とりあえず各病棟で何が出来るのか Alb 値で患者を抽出していましたが、約3カ月ぐらいいやっているとみんな本当に栄養管理が必要な人はだれかわかってくるようです。結局、食事が食べられないとか痩せてきたとかという人が取り上げられるようになってきました。要するにみんな勝手にSGAをやっているようです。それならばもう1度SGAをみんなに知ってもらって、そのうえで患者の抽出をしていく仕組みを作ってはどうか

と考えています。NSTが動き始めた当初はどれだけ時間がかかるか、忙しい中そんな時間とれないと言って、ものすごく簡略化されたものが世間一般にも広まっています。当院もそうです。でも、実際NSTが身近に感じるようになった人たちは、自然と‘SGAもどき’を勝手にやってくれています。不思議なことです。サテライトチームの医師方もとても前向きに取り組んでいただいています。この際、一度また足元に立ち返りみんなでSGAを見直して、よりよい栄養管理につなげていきたいと思います。みなさんがんばりましょう。
(SGAとは Subjective Global Assessment; 主観的包括的栄養評価の略で簡単な問診と、身体状況の視診・触診から栄養状態を主観的にとらえるスクリーニングツールのことです。)

HMB(β-ヒドロキシ-β-メチル酪酸)

褥瘡や創傷の治癒には栄養は絶対必要なものですが、どんな栄養・栄養素がいるのと聞かれる。そりゃまずたんぱく質は素材としてまず必要だし、エネルギーはちゃんとたんぱく質が無駄にならないためにもいる。そして亜鉛は忘れずに。アルギニンはタンパク合成と免疫賦活のために必要で、グルタミンは相当使われて不足するから腸管機能のため十分ほしい。最近ロイシン代謝産物であるHMBが過剰な炎症反応を調整してくれるということで使いたいなあ。ということで何が一番大事なんだかわからなくなりそう。患者さんに買ってもらうとなると、よっぽどのお金持ちでないと無理だろう。だからNSTのメンバーは今何が必要なのかを考えて、栄養治療を進めなければいけないと思うなあ。そりゃ早く治ってほしいのは山々だけど、使ったからって絶対早く治るもんでもないしね。

JSPEN2012 神戸

当院のお膝元、神戸のポートアイランドで開催されました今年のJSPEN。相変わらず人ひとひと。当院のチェアマンもパネルディスカッションに登場し一花咲かせてくれました。将来は世界の東別府チェアマンとして全国の皆さんにも名前が轟いていくことと思います。今年もESPENの有名な先生なども講演され、栄養の重要性と難しさを感じ、ASPENとの違いはどう考えるのか、非常に混乱した状態で学会を終了しました。昨年来当院のNCM講演会に講師で来ていただいた若林先生のリハ栄養の盛り上がりは驚異的で、関連のセッションは立ち見どころか入れない騒ぎでした。せつかく学会に来たのに、毎年こんな状態でいいのかなと思うようになりました。

NST部門システム

当院も電子カルテになって半年以上が過ぎますが、みなさんNSTの部門システムを一度は開いていただいたことはあるでしょうか。ここにはコンサルトに挙がっている患者さんの情報や勉強会などのお知らせなど、活動の中身が濃縮されています。なかなか余裕もなくただただコンピューターに使われている現状では、チーム関係者以外では見られることもあまりないと思います。しかし、ちょっと興味がある方は勉強会の予定をみて、一度参加していただければいいんじゃないかと思います。是非のぞいてみてください。

NCM 講演会 予定

月日	内容	担当
3/22	静脈栄養	東別府先生
4/26	栄養超基本	東別府先生
5/24	未定	未定

NSTカンファレンス・回診
毎週水曜日 pm1:00~ 3階会議室4

